

DVDリスト						
No	タイトル	時間 (分)	対象	制作年	保管 場所	内容
<b>部落差別</b>						
1	にぎやかな家族	55	中学生 以上	1992	八	希望どおり関西の関連会社に転籍が決まり、東京の団地から庭付き一戸建ての家に落ち着いた親子三人は大喜び。ところがそこは、同和地区だと知って妻は顔色をかえるが、夫と中学生の子どもは積極的に地区の人々の中にとけ込んでいきます。
2	バースディ レストラン	30	中学生 以上	2000	八	突然の父の死で、ひとりぼっちになった中園泉は、12年前の両親の離婚以来、全く会っていなかった母と一緒に暮らすことになります。暮らし始めた場所が同和地区だと知り困惑する泉のもとへ一通の招待状が届きます。それは、毎年父と一緒に誕生日を祝ったレストランからのものでした。
3	琴美の決意 ～差別なき未来に向かって～	37	一般	2002	八	被差別部落に生まれ育った琴美さんが、母となり我が子の将来のために差別解消を訴える作品。両親が受けた差別、自分が受けた差別を語り、差別を無くすためには、差別された側が、勇気を持って訴えていくしかないと思い、我が子の将来のために部落差別について語ります。
4	ふれあいTVスクエア 届けメッセージ、歌と朗読劇に込めた思い	38	一般	2007	八	県内在住のミュージシャン川本勇さんが同和問題の解決に取り組む地域の交流活動などを紹介します。
5	部落の心を伝えたいシリーズ第12巻 若い力は今 吉岡綾	30	一般	2009	八	自らの差別体験を通して、「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん。若さ溢れる熱力強い語りは、行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいます。
6	部落の心を伝えたいシリーズ第15巻 夫婦で差別と闘います！ 石井眞澄・千晶	30	一般	2010	安 八	琵琶湖の辺、結婚3年の石井夫妻。部落出身の妻と部落外の夫は結婚差別を契機に講演活動を始めました。異なる立場からの夫婦講演で、差別の実態を語ります。
7	私の中の差別意識 部落差別問題から考える	24	一般	2010	八	あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのかを考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。
8	同和問題 ～過去からの証言、未来への提言～	61・19	教育関係者 一般	2014	八	【教育関係者向け 61分】 同和問題について、歴史的経緯や当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。 【一般向け 19分】 同和問題について、結婚差別を題材にしたドラマ形式で考えていきます。
9	あなたに伝えたいこと	36	一般	2015	八	結婚を前提につきあう彼氏がいる女性。ある時、自分が同和地区出身であることを知って困惑しながらも、家族や友人と話し合う中で、彼にありのままを伝えることを決心します。ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあってお互いを正しく知ることが、同和問題をはじめとする全ての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。
<b>男女共同参画</b>						
10	見えていますか？ 家庭の中の男女平等	29	一般	1993	八	建て前ではわかっている、無意識のうちに縛られている女らしさや男らしさ、男性優位の考え方など、家庭の中にもまだまだ問題が…。身近な5つのテーマをオムニバス形式で描きます。
11	桂文福の巷談 男と女のお断	23	一般	2001	八	【家庭編】共働きの西山さん夫婦の子育て、働き方、家事に対する考え方など、夫婦と両親の間に微妙な考え方の違いが… 【仕事編】仕事の上でも男女間で問題がみられます。企画会議を課員みんなで行うことになりましたが… 【地域編】自治会の集会に初めて出席したきみ子さん。母親の立場から思い切って発言してみました。その結果は？
12	気づくことがはじめの一歩	24	一般	2001	八	男女共同参画の意識を持って仕事も、家庭生活も、子育ても行っている夫婦と旧来からの役割分担意識を引きずったまま生活する2組の家庭の様子を対比させ、男女共同参画に対する考え方に気づき、考える内容となっています。また、PTAやサークルなど地域での男女共同参画への取り組みについても考えます。
13	FREE YOUR MIND 本音を語りましょう	17	一般	2001	八	今井家は夫婦・子どもの3人家族で郷里の滋賀県に帰郷、新生活をスタートしました。しかし、地域には「男は仕事、女は家庭」の意識や、「出不足料」制度が残っていて…。二人は果敢に働きかけ地域を変革して行きます。
14	大助・花子の男・女どっちが得？	26	一般	2004	八	日々の暮らしの中で、「変だな」「おかしいな」と感じたり、当たり前と見過ごしていることの中に、性別を理由とした不合理な取り扱いや、固定的な見方があることが多くあります。暮らしの中にあるこれらの問題点について、楽しみながら考えていきます。

No	タイトル	時間(分)	対象	制作年	保管場所	内容
15	なりたい私になる ～チャレンジする滋賀の女性たち～	25	一般	2005	八	これから社会に出ようとする若い女性や、現在子育てや介護でいったん仕事を中断した女性たちに、チャレンジの具体的なイメージを描いていただくための作品です。大規模水稲栽培や板金職人など、これまで女性の少なかった分野で活躍する女性や趣味を生かして専業主婦からパン工房を始めた女性グループなどを紹介します。
16	体験！発信！チャレンジ・ストーリー	29・29 ・29	一般	2006	八	滋賀県栗東市、熊本県宇城市、京都府舞鶴市のそれぞれの町で活躍する女性の夢に向かってチャレンジしていく様子をアドバイザーが詳しく解説します。
17	夢へのパスポート ～まちづくりにかける元気な女性たち～	29・29 ・29	一般	2007	八	新潟県上越市、岐阜県郡上市、東京都大田区での女性の再就職や、男性の家庭参画セミナーでの活躍をそれぞれアドバイザーを迎え、元気なまちづくりを目指す活動を紹介します。
18	男女共同参画 パフォーマンスステージ入賞作品集	20・15 ・10	一般	2007	八	島根県が制作した、男女共同参画についての寸劇や紙芝居です。男女共同参画について、わかりやすく伝える作品となっています。
19	ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？ 働くオトコたちの声	27	一般	2008	八	ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っていますか？それは、「仕事」と「生活」を調和させるライフスタイルのことです。家庭や会社など私たちの身近なところで、すでに様々な取り組みが始まっています。この作品では、ワーク・ライフ・バランス社会の実現を目指す企業や、仕事と家庭の理想的なバランスを実践する人々の姿をドキュメンタリータッチで紹介しています。
20	配偶者からの暴力の根絶をめざして	35	一般	2008	八	配偶者からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。配偶者暴力防止法(H13)について、暴力の根絶をめざしてわかりやすく紹介しています。
21	明日への道しるべ ～まちづくりにかける元気な女性たち～	30・30	一般	2008	八	青森県八戸市では「女性まちづくり塾生の会」がオリジナルのマップを作成する様子を、また、福島県安達郡大玉村では、食事をしながら民話の語りや聞き事のできる茶屋の活動について解説します。
22	人と人とのよりよい関係をつくるために	42・22	若年層	2009	八	若年層を対象にした、交際相手からの暴力の予防啓発教材です。指導者用、受講生用に分かれた内容になっています。
23	人権ってなあにシリーズ12(男女平等編) 誰でも どこでも ー男女平等をめざしてー	40	一般	2011	八	街角インタビューから始まり、「均等待遇アクション21」の皆さんによる非正規労働者の職場を描いた寸劇で盛り上げ、それぞれの立場からの訴えが続きます。女性差別、雇用における差別がなぜ起こるのか、江原由美子さん(神奈川人権センター理事長)によってその本質が鋭く語られています。
24	それぞれの立場 それぞれのきもち	28	一般	2011	八	ドラマの中で、日常の職場での起こりそうな出来事が取り上げられ、価値観の異なるメンバーがそれぞれどのような思いを持っているのか、また、職場のダイバーシティと人権についてわかりやすく学習できる教材になっています。
25	これからの男の生き方！ イクメン・カジダン・共同メン	25	一般	2012	八	男女共同参画が男性にとっても重要であることについて理解を深めるため、「男性のための男女共同参画プロジェクト」の一環として、男性に向けた「これからの男の生き方！イクメン・カジダン・共同メン」を作成。3編構成で、イラストや統計データを活用し、「なぜ男女共同参画が必要なのか」などについて、わかりやすく解説しています。
26	安心できる避難所づくり ～男女共同参画の視点を避難所運営に～	30	一般	2013	八	いつ起こるかわからない災害に備え、これまでの大災害の教訓や課題をふまえ、平常時から多様な人々の視点を生かした防災・減災のまちづくりを進めていく必要があります。この作品は、男女共同参画の視点から、「関連死防止のための避難所づくり」「特別な配慮を必要とする人のための避難所づくり」の2部構成となっています。
27	ふたりがよりよい関係をつくるために ～デートDVってなに？～	23	若年層	2013	八	デートDVとは、恋人に対しての暴力や、言葉で相手を一方的に支配することであり、殴る、蹴る、脅す、命令するといった行動になります。よりよい関係をつくるために、暴力での支配は間違い、対等な立場で付き合うといった、相手を思いやる気持ちを伝える作品です。
28	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	25	一般	2013	八	祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにおける人権問題(子育て、介護、DVなど)をクローズアップしています。家庭の中で、人権の大切さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして行動することの大切さを描いています。
29	会社が変わる！ワーク・ライフ・バランス経営 ～未来を視野に入れた企業経営のために～	14	一般	2014	八	ワーク・ライフ・バランス実践企業3社のイキイキと働ける職場づくりや男性の子育ての取り組みについて紹介します。
79	出産・育児への理解がない ～職場のマタニティ・ハラスメントを防ぐ～	26	一般	2015	八	社内のハラスメント解決に取り組む女性社員。ある日、妊娠した女性社員から相談を受けます。悪気なく「妊娠・出産した女性は今までと同じように働けない」と思い込んでいる上司。その女性社員をフォローするために仕事が増え、ストレスをためこむ同僚。誰にでも起こりうるマタニティ・ハラスメント問題に取り組む様子を描きながら、正しい知識を解説して解決策を提示していく作品です。文部科学省選定。
82	あした咲く	36	一般	2018	八	女性が輝く社会の実現に向けて様々な取り組みが行われていますが、ドメスティックバイオレンスやハラスメントなどの女性に対する人権侵害があらゆるところで生じています。この作品では立場の異なる姉妹が、それぞれの視点から異なる価値観を見出し、生き方を選択していく姿を描いています。

No	タイトル	時間(分)	対象	制作年	保管場所	内容
97	映像で学ぶジェンダー入門 ①男らしさ/女らしさ	30	一般	2021	八	男らしさ、女らしさといった考え方は人の無意識に存在します。そうした考え方はしばしばステレオタイプ化し、多くの弊害をもたらします。「スイーツ男子」といった言葉の裏にどのような性別の固定観念が潜んでいるのか、また、教育の場においてそうした固定観念はどのような影響をもたらしているのか、ジェンダー・ステレオタイプを取り巻く多くの事例について考えます。また、フェミニズムやバックラッシュといったジェンダーを考える上で重要な事柄についても学びながら、様々な事例から身近なところにひそむ性別役割規範について考え、現代の社会における課題について考えます。
98	家庭からふりかえる人権 話せてよかった	27	一般	2020	八	本作では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つけ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内での「人権」について話し合うきっかけ
<b>子どもの人権</b>						
30	子どもと話していますか	30	一般	1998	八	今、親子の間でもっとも必要とされているのは、心の通った本音の会話です。この作品ではどこにもみられる、ごく平凡な家庭を取り上げて、心豊かな子どもを育てるために、親子の真の会話を回復させることを訴えています。
31	人権ってなあにシリーズ6(子ども編) いきいき生きる ~子どもの権利とエンパワメント~	35	一般	2001	八	「子どもの権利条例」の制定された川崎市において、中高生の居場所「ゆう杉並」の運営にたずさわる中高生委員たち。子どもの視点から身近な問題を考える情報誌を、おこづかいやアルバイトをして自力で発行する大阪「EFC」の子どもたち。子どもたちが自立に向けいきいきと活動している姿を追い、虐待やいじめ、性的搾取などの問題にも触れ、本当の意味でのエンパワメントのあり方を探ります。
32	ふれあいTVスクエア アグネスからのメッセージ ~みんな未来に生きるひと~	29	一般	2007	八	アグネス・チャンさんが、地域での子育てを支援している『風の子保育園』を訪ねるほか、身近な自然や人とのふれあいを通して子どもたち成長をサポートしている『NPO子どもネットワークセンター天気村』、子どもたちの声にひたすら耳を傾け、その思いを受け止めることを目的に子ども専用電話「しがチャイルドライン」を開設している『CASN』の取り組みを紹介します。
33	虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 ~見えない虐待をしないために~	25	一般	2008	安八	虐待は粗暴な親だけが行うものではなく誰にでも起こりうるものです。この作品では、子どもへの習い事の押し付け、発育への不安と孤立、過干渉とつけへの思い込みをテーマに3話の再現ドラマ形式で虐待事例を紹介します。また、各テーマに沿った問題点と虐待を防ぐ対応法、求められる親の気づきについてわかりやすく専門家が解説します。
34	起こる前に考える 子ども虐待	39	一般 教育関係者	2009	八	幼児期に受けた虐待体験および未解決な心の傷は知らないうちに次の世代に繰り返されてしまいます。この繰り返し(虐待の世代間伝達)を防ぐポイントは「養育者との愛着関係の形成」および「孤立し子育てに不安を抱く親に対する社会的な子育て支援」にあります。この作品では、子ども虐待の現状と起こる要因、虐待防止に向けた取り組み、愛着形成と子どもの育ち方などを紹介します。
35	いじめケース・スタディ -みんなで考えよう-	16	一般	2010	八	いじめは暴力だけでなく、無視をする、誹謗中傷をするなど、様々なものがあります。いじめ被害の解決に向け、再現のドラマを交え尾木直樹先生が解説します。
86	君が、いるから	33	一般	2018	八	母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公の作品です。自分が愛されていることを感じる事ができず、自己肯定感が低い彼女ですが、人と人とのふれあいを通じて、新たな価値観に気づいていきます。子どもや若者が社会的に成長し、自立していくために、人と人が関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす内容となっています。
90	いじめ～一歩ふみ出す勇気～	19	一般	2018	八	中学生向けの、いじめ防止教材ドラマです。本作品は、いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていかうとするストーリーを通して、いじめ解決のために一歩ふみ出すことの大切さを伝えます。
<b>障がい者の人権</b>						
37	今日もよか天気たい	35	一般	2006	八	視覚障がいのあるひとりの女性「京子」とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在や京子のとる行動によって、自分の心の中にある偏見や差別に気づきます。さらに、多くの人から支えられてきた京子自身もまた人の役に立つことで生き甲斐を見つけっていく作品です。
38	障害のある人とのふれあいと人権 -今まで声をかけられなかったあなたへ-	23	一般	2008	安八	この作品では、障がい別のサポートの仕方や障がい者自身の言葉でどう関わってほしいかを伝えます。「本当のバリアフリーは、心のバリアフリーから始まる」をテーマに、障がい者が社会参加するために、自分たちに何が出来るか考えるきっかけになることを目指します。
39	秋桜の咲く日	34	一般	2014	八	何気なく会話に出てくる「普通〇〇だよね」「あの人、普通じゃないよね」という表現。「普通」とは何でしょうか？違いを認めないことは差別につながります。それぞれの違いを理解し、認め合うことの大切さについて考える作品です。
40	聲の形	30	中高生 教育関係者	2015	八	現代の子供のリアルな表情を描きつつ、聴覚障がいを持つ同級生への「いじめ」という問題を通じ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを自然に考えることができるような作品です。
84	風の匂い	34	一般	2016	八	スーパーマーケットで働く青年二人を中心に、障がい者差別について考える作品です。社会的な課題である障がい者への「合理的配慮」についても触れています。

No	タイトル	時間 (分)	対象	制作年	保管 場所	内容
85	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	33	一般	2018	八	誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？障がいのある人が直面する人権問題の解決に向けての取り組みを紹介し、障がい者の人権について考えます。
88	知りたいあなたのこと 外見からはわからない障害・病気を抱える人	21	一般	2019	八	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障がいや病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといいます。この作品では、外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく作品です。
96	知りたいあなたのこと 視覚障害者の生活・気持ち	21	一般	2021	八	目が見えないということを、私たちはどこまで想像できているのでしょうか？視覚に障がいを持つ方々は、いろんな場面で危険や不安を感じながら生活を送っています。この作品では、3人の全盲の方と1人の弱視の方に取材しました。一体どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。今作では、視覚に障がいを持つ方々との話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。
100	知りたいあなたのこと きこえない人の生活・気持ち	21	一般	2022	八	私たちは、「音のない世界」を一体どこまで想像できているのでしょうか？耳の聞こえない・聞こえにくい方々は、人知れず不安や困りごとを抱えながら生活を送っています。ですが、彼らは障がいを持っていることが周囲から分かりにくいいため、困っていても周囲にはなかなか伝わりません。この作品では、1人の難聴の方を中心に取材しました。彼らは、一体どんな場面で困っているのか？どんな配慮が求められているのか？この作品は、聴覚に障がいを持つ方々の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。

No	タイトル	時間 (分)	対象	制作年	保管 場所	内容
<b>高齢者の人権</b>						
41	世代をこえて ～みんなで作る高齢社会～	23	一般	1999	八	地域社会に根ざした世代間交流を通して、自分の老いを経験として生かす高齢者の姿から生き方を学ぶ高校生の姿を描き、世代を超えた交流の大切さを訴えます。
42	高齢者の人権 ～輝いて生きよう～	30	一般	2000	八	高齢者を取り巻くさまざまな問題を社会全体のこととして考える時期を迎えています。高齢者のもつ知恵や経験にスポットを当て、お互いに学びあうこと、生かすあうことの意味やそれによる豊かな生活について考える作品です。
43	老いを生きる	35	一般	2006	八	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととしてとらえ、高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、日常生活の中で態度や行動に表れるような人権感覚を育みます。認知症の問題や高齢者の虐待などについて考えます。
44	「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーン 認知症サポーター100万人キャラバン	15	一般	2009	八	認知症の症状や支援のあり方などの専門家の解説にとどまらず、接し方の事例を紹介しており、わかりやすく認知症について学ぶことができる作品です。
45	認知症サポーター養成講座DVD No.1 やっばり、笑顔のサブちゃんがいい	11	小学生	2013	八	【アニメ】認知症のおじいちゃん(サブちゃん)の家族の物語です。サブちゃんとお母さんの会話に対する子どもの疑問について、お父さんがわかりやすく答えます。
46	認知症サポーター養成講座DVD No.2 やっばりサブちゃんのチャーハンは最高	16	小学生	2014	八	【アニメ】認知症のおじいちゃん(サブちゃん)の家族の物語です。サブちゃんが料理を出来なかったことに対する子どもの疑問について、お父さんがわかりやすく答えます。
47	防ごう 高齢者虐待 日常の介護から考える	28	一般	2015	八	働きながら認知症の親の介護をしている2つの事例を、介護の話も含め描いていきます。どのような場面で虐待が発生する可能性があるかについて、事例を紹介し、虐待を未然に防ぐにはどうすればいいかについて考えることを目的とした作品です。
77	高齢者見守りネットワークの構築に向けて ～広島市中区基町事例紹介～	38	一般	2013	八	実際に高齢者見守りネットワークを構築した広島市中区基町を取り上げ、実際に行われた手法の紹介や、関わった人達へのインタビューなどを通して、地域での高齢者見守りネットワークの構築について紹介します。
83	ここから歩き始める	34	一般	2015	八	「認知症を生きる」をテーマに、認知症の親を持つ主人公を中心に、介護等について家族みんなで考えていく姿が描かれています。高齢者が人間として誇りを持って生きることができる社会の実現を目指す作品です。
89	はじめて認知症の人に接するあなたへ	19	一般	2018	八	認知症の「症状についての正しい理解」と「認知症の人への接し方の基本」の2点に内容をしぼり、認知症についての基礎知識を学んでいきます。専門用語を使わない誰にでもわかりやすい解説と大切なポイントに気づかせる適切なハウツー映像で、正しい知識を自然と身に付けることのできる、入門編としての作品です。
<b>外国人の人権</b>						
48	人権ってなあに5(移住外国人編) いっしょに歩こう ー豊かな国際化社会をめざしてー	45	一般	2001	八	外国人労働者に焦点をあて、日本社会の国際化のあり方を問い直す作品です。
49	この街で暮らしたい ～外国人の人権を考える～	32	一般	2002	八	在日朝鮮人で児童クラブ(学童保育)の指導員ミファはある日、バングラディッシュ人のジョスナから息子のココンについての相談を受けます。ココンは肌の色が黒いといじめられていました。外国人への偏見を描きながら、外国人の人権について考える作品です。
50	青い目茶色い目 教室は目の色で分けられた	45	一般	2007	八	アメリカで実験的に行われた人種差別の授業とその授業を受けた生徒たちのドキュメンタリー(NHK番組)。
51	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	33	一般	2016	八	外国人に対する偏見や差別、ヘイトスピーチなどの問題を取り上げ、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考える、多文化共生社会を築くためにはどのようなことが問われているのかについて学ぶことができる作品です。
87	サラマット ～あなたの言葉で～	36	一般	2019	八	この作品のテーマは「SNS時代における外国人の人権」です。訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源泉です。お互いを尊重し、互いを高めあっていく、そんな多文化社会の実現をめざす作品です。

No	タイトル	時間(分)	対象	制作年	保管場所	内容
<b>患者の人権</b>						
52	人権ってなあにシリーズ8(AIDS編) 風よ雲よ伝えてよ ーHIV/AIDSと共に生きるー	38	一般	2002	八	HIV/AIDSに対する差別や偏見が数多くあります。この作品では、HIV/AIDSと共に生きる社会について考えていきます。
53	家族からひきはなされて みんなで考えようハンセン病問題	19	小中学生以上	2007	八	ハンセン病療養所には、多くの子どもたちがいました。強制隔離収容をうたった「らい予防法」は子どもにも容赦なく適用されました。ハンセン病に対する隔離政策の歴史と入所者の証言から差別について考える作品です。
54	ドキュメンタリー作品 虎ハ眠ラズ ～在日朝鮮人ハンセン病回復者 金泰九～	43	一般	2011	八	国立療養所「長島愛生園」で半世紀近く社会から隔離された生活を送った金泰九さんの半生を描いたドキュメンタリー。在日朝鮮人でハンセン病を発症し療養所に強制隔離され、二重の差別に苦しみながらも国家賠償訴訟で原告として闘った金さん。看護師を目指す少女が金さんと出会い、対話を通してこれまでの人生やハンセン病、差別の歴史について理解を深めています。
55	ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～ 家族で考えるハンセン病	56・20	教育関係者 一般	2015	八	ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身につけておくべき歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、一般を対象とした啓発においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作した作品です。
95	ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～	34	一般	2021	八	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。
<b>インターネットによる人権侵害</b>						
56	ま・さ・か わたしが! ? ー情報社会を考えるー	25	一般	2002	八	携帯電話、インターネットを使って、誰もが瞬時にさまざまな情報を発信することが可能になりました。無意識に流した情報が、人を苦しめることにもなることも。「知らぬ間に加害者に」、「情報に惑わされて」、「パソコン通信で、困る顔が見えず」の3部作です。お互いの人権の尊重について、映像を通して考えます。
57	あの空の向こうに	38	中高生 一般	2009	八	ケータイやインターネットといった文明の利器を凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも「人」です。本当の意味での心のつながりを改めて見つめ直し、お互いに「思い」を交わし、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割についても考える作品です。
58	インターネットと人権 加害者にも 被害者にもならないために	30	中高生 一般	2016	八	インターネットの急速な普及に伴い、中高生がインターネット上で深刻な人権侵害を受けることが増加していることから、SNSなどによりインターネット上に画像や個人情報が流失してしまった事例から、加害者にも被害者にもならないように安全な利用法・対策をまとめた作品です。
<b>人権一般、その他の人権</b>						
59	アニメ めぐみ	25	一般	2008	八	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。
60	伝統技術の記録 手縫いの八幡靴	52	一般	2001	八	八幡靴の継承に向けて、手縫い靴の制作工程の啓発と記録保存のための作品です。内容は、「プロローグ 八幡靴の簡単な概要」「制作工程 1. 甲皮(コウカワ)の工程 2.底付けの工程 3.仕上げ工程」「資料編」の3部構成です。
61	滋賀の伝統産業ー匠の技・皮革ー	29	一般	2001	八	皮革産業の変遷と人権問題、匠の技・太鼓づくり、紳士靴・町の3部構成になっていて、滋賀県の皮革産業の振興を図るとともに、皮革産業の歴史や役割および同和教育の正しい理解と認識を深める目的で制作された作品です。
62	企業と人権シリーズ① ー部落地名総鑑事件30年企画作品ー Jun&Keiの企業と人権	30	企業 一般	2006	八	Jun&Keiの漫才コンビが、堅く感じてしまいがちな人権問題を親しみやすく紹介。個人情報、男女平等、障がい者、外国人、部落差別の各問題について、統計やドキュメントを用いて企業と関わり深い問題を解説します。
63	人権感覚のアンテナって? ～人権侵害・差別がみえてくる～	40	一般	2006	八	何気なく悪気なく、また自分にとって都合が良いからといって、結果、人を貶め、苦しめてしまう「落とし穴」。「知らない」「見えない」「考えない」から生み出される、誰もが陥りやすい落とし穴だからこそ、偏見や差別、人権侵害について正しく知り、話しあい、学びあうことが大切です。そして、人権感覚のアンテナを張り、私たちの日常生活における意識と行動を見直しましょう。
64	総務部総務課山口六平太 裁判員プロジェクトはじめます!	23	一般	2007	八	【アニメ】裁判員に選ばれた社員をサポートするための「裁判員プロジェクト」の立ち上げを社長から命じられ、六平太たちは裁判を学びながら、サポート策作り奔走します。
65	人権を行動する ～その時あなたはどうしますか?～	25	一般	2007	八	セクハラ、個人情報の保護、部落差別など、人権問題に関わる具体的な場面で、自分ならどのように行動できるかを考えます。人権のフィルターを通して日常生活を見直し、実践や行動につなげることの大切さを学ぶことができる作品です。

No	タイトル	時間(分)	対象	制作年	保管場所	内容
66	響け 大地に、人の心に	41	一般	2008	八	ドラマ編と解説編の2部構成になっています。ドラマ編では、小学生とその家族、日本で働く外国人の日常生活を通して、偏見への「気づき」や「学び」の大切さを考えます。また、いじめと向かい合う主人公の勇気ある「行動」が「きずな」を深めていく過程を描き、今私たち一人ひとりに何が求められているかについても考えられる作品です。解説編では、「外国人の人権」「子どもの人権」「同和問題」「一人ひとりの人権を大切にするために」の4つの課題を設定し、話し合いや学習のまとめとして、各課題の後半ではアグネス・チャンさんが人権に対する自分の考えを伝えます。
67	親愛なる、あなたへ	37	一般	2008	安八	仕事一筋に生きてきた主人公。まもなく定年退職というある日、妻が急死してしまいます。妻の死をきっかけに一人息子と口論し孤立し、定年後のこれからのことを思い途方に暮れます。そんなときに、地域の妻の知人との関わりから少しずつ自分の住む地域を見つめ始め、日頃の自身の言動を振り返り、主体的な生き方や地域の中でのかわりについて考え始めます。
68	桃香の自由帳	36	一般	2008	八	核家族化や都市化が進む中、同じ地域に暮らしていても、名前も知らず相手を誤解して排除したりするなど、気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうこともあります。ここでは、どの地域でも起こりうることに光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、見失いつつある人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かを語りかけます。
69	日常の人権 I 気づきから行動へ	23	一般	2009	八	3つの人権問題(女性の人権・子どもの人権・高齢者の人権)を、ドラマ編とドキュメンタリー編で構成しています。
70	日常の人権 II 気づきから行動へ	23	一般	2009	八	4つの人権問題(外国人の人権・障がい者の人権・部落差別・インターネットでの人権侵害)を、ドラマ編とドキュメンタリー編で構成しています。
71	「ホームレス」と出会う子どもたち	30・45	教育関係者	2009	八	【本編30分】なぜ若者や子どもによる「ホームレス」襲撃が起きるのでしょうか？大阪・釜ヶ崎にあるこどもの里が行う「子ども夜まわり」の活動を軸に、参加する子どもたちの変化、ホームレス生活を送る鈴木さんの仕事や生活、その思いに迫ります。さらに「ホームレス」襲撃問題をとおして、居場所(ホーム)なき子供たちの弱者いじめの問題を問い直します。 【応用編45分】①本編にも登場する元・野宿生活者の男性が子どもたちに語る人生。貧しかった子ども時代、野宿生活へいたった背景、野宿生活を脱した現在の思い。②釜ヶ崎の「子ども夜まわり」の活動を詳細に撮影。野宿の人との会話。子どもたちによる夜まわり実演、学習会、はじめて夜まわり活動に参加する人の体験談を紹介しします。
72	誇り ～差別といじめは超えられる～	30	一般	2013	八	福島県から原発事故被害を避けて父の実家に引っ越した家族が、引っ越した先の町で風評被害や偏見、無知が生む差別やいじめと遭遇し、それらを乗り越えようとしていく姿を描いた作品です。
73	あなたがあなたらしく生きるために～性的マイノリティと人権～	30	一般 教育関係者	2014	八	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、多様性についてまだまだ理解が進んでおらず、性的マイノリティの方の多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのままを受け入れられ、自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めることを目的とした作品です。
74	未来を拓く5つの扉 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集	46	中学生以上	2014	八	次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えます。中学生が作文の中でつぶやいている言葉に、あなたも耳を傾けてみてください。それが、きっと、新しい明日への一歩につながっていきます。①本当の国際化とは ②電車内に咲いた、笑顔の花 ③立ち止まる ④NO!と言える強い心をもつ～ハンセン病問題から学んだこと～ ⑤絆
75	すべての人々の幸せを願って～国際的視点から考える人権～	35	中学生以上	2015	八	世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分達の身近にある人権問題とどのように関わっているか、国際的な視点から考えるため、「女性の人権」「子どもの人権」「障がいのある人の人権」「外国人の人権」の4つの人権課題を、それぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。
76	わたしたちが伝えたい、大切なこと	35	中学生以上	2015	八	近年の全国中学生人権作文コンテスト入賞作品から(1)外国人問題、(2)障がい者スポーツ、(3)障がい者理解を題材とする3作品をアニメ映像化し、人権研修、講演会、人権教室等で上映等を行うことで、人権尊重思想の普及高揚と同時に、同コンテストの周知を行うことを目的とした作品です。
78	LGBTを知ろう	20	一般	2016	八	LGBTとは「レズビアン(同性愛者の女性)」「ゲイ(同性愛者の男性)」「バイセクシュアル(両性愛者)」「トランスジェンダー(からだの性とところの性が異なる人)」の頭文字をとった言葉です。LGBTを含むセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の人たちは3～10%存在すると言われています。同性カップルへのパートナーシップ証明書の発行、LGBTの子どもたちへの配慮を求めるパンフレットの配布、教科書への盛り込みなど、社会は大きく変わりつつあります。多様な性のあり方について正しく理解して認め合っていく社会にするための事例などをわかりやすく解説しています。
80	わかっカフェへようこそ～ココロまじわるヨリココロ～	35	一般	2015	八	忙しい日々を追われて人と心を通わせることを忘れていませんか？町の路地にたたずむ「わかっカフェ」にはいろんな人が訪れます。 ①インターネットによる人権侵害「三色団子の向こう側」(12分)・・・便利なスマホ。「自分を守る」「人を傷つけない」ルールをきちんと理解して使っていますか？ ②高齢者の人権「世代をつなぐ柏餅」(8分)・・・家族のことは本当に家族だけの問題なのでしょうか？住み慣れた町で安心して暮らし続けるには・・・ ③外国人の人権「コンペイトウの来た道」(12分)・・・日本に住む外国人はどんな悩みを抱えているのでしょうか？もしも自分が外国で生活することになったら・・・

No	タイトル	時間(分)	対象	制作年	保管場所	内容
81	企業と人権 ～職場からつくる人権尊重社会～	40	企業 一般	2017	八	過労死やハラスメントなどの人権問題への対応は企業の価値に大きく関わるため、人権尊重を企業方針に取り入れたり人権研修を実施したりする企業も増えています。企業が人権問題に取り組む必要性や企業内での人権課題の種類などについて、事例や対処法を含めて解説しています。(ナビゲーター: 内田恭子) ①ハラスメント(長時間労働を押し付ける、些細なミスに対して人前で執拗に罵倒する、なれなれしく体に触るなど) ②LGBT(同僚がゲイだと噂話をする、セクシャルマイノリティの噂話に人を巻き込むなど) ③障がい者に対する差別・偏見(障がいを理由に求人に応募できない、車椅子での入店を拒否される、障がいを理由にアパートに入居できないなど) ④外国人に対する差別・偏見(日本語を理解しにくいことに付け込んで不利な条件で働かせる、先入観で侮辱的な発言をするなど) ⑤えせ同和行為(同和問題の解決を装って高額な本を送りつけられるなど)
91	シェアしてみたらかわかったこと	46	一般	2019	八	年齢も社会的立場も異なる人たちが、シェアハウスで一緒に生活することで、人権について考えるという作品となっています。①外国人に関する人権、②性自認や性的指向に関する人権、③外からは見えにくい障害のある人の人権、④災害時の人権の4つの人権について収録されています。46分と少し長めになりますが、①～④の人権について、いくつか選んで見ることも可能です。
93	今こそ支えあって ～コロナ禍でもがんばる地域からの発信～	52	一般	2021	八	「人権活動についてのインタビュー集」県内各地で様々な人権擁護活動行う4つの団体・事業所の皆さんが、活動内容や活動への思いを語られます。①人権ネットワーク八幡～部落差別からあらゆる人権課題へ～ ②かんちゃんの小さな家～子どもたちに居場所と絆を～ ③多機能型事業所エルディ～障がい者との共生～ ④サンタナ学園～コロナ禍でも負けない学びの保障を～
99	imagination 想う つながる 一歩ふみだす	34	一般	2013	八	いじめを受けている人・いじめをしている人、部落差別を受けている人・差別をしている人、発達障害のある人・発達障害のことを誤解している人、そして、それらの問題は「自分とは関係ない」と思っている人……。あなたはどうか？ 何気ない日常の中で、ほかの人の「心」を想像することをおろそかにしていませんか？ 今作品では①いじめ ②部落差別 ③発達障害 の3つのテーマについて、ラジオ局を舞台に、リスナーからの悩み相談を受けたり、ゲストの解説者にコメントをもらうなどの構成となっています。
101	パースデイ	37	一般	2022	八	今作品のテーマは、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。性的少数者については、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。今作品はトランスジェンダー男性の家族や職場にカミングアウトについてのドラマとなっており、性的少数者が身近にいることについて考えることができます。
102	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	35	企業	2022	八	今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。